

やまばと通信

健幸都市



2020.7.10発行
第 238号
多摩市立図書館
042-373-7955

暑い夏がやってきました！コロナウイルス対策で落ちつかないまま季節が変わり、感染予防に努めながら過ごす夏を迎えます。正しい予防で、健康に毎日を過ごしましょう。

図書館ホームページを
ご活用ください！！



多摩市立図書館ホームページのトップページには、
皆様と「本」との出会いを広げるためのさまざまな機能があります。

その1

「話題のキーワード」：旬な話題に沿った本をご紹介します。不定期更新です。お見逃しなく！
気になるキーワードをクリックすると、一覧から予約ができます。
(ご予約にはパスワード登録が必要です)

その2

「書評で紹介された本」：新聞などの書評で紹介された本をすらりとご紹介！掲載新聞やジャンルで
絞りこみもできます。さらに一冊セレクトすると関連資料も出てきます。
図書館の本棚を見るように、果てしなく本の世界を旅できます。

その3

「資料情報」：「テーマ資料」では、庁内各課との連携企画展示で展示した本を掲載。皆様のお役に
立つ本を紹介しています。「新着一覧」では、新しく図書館の資料になった図書は4
週間、視聴覚資料は12週間表示します。



本から学ぶ

「協力」することの大切さ



コロナウイルスが猛威をふるい、感染症拡大防止の緊急事態宣言によって、「密を避ける」「不要不急の外出の禁止」など、今まででは考えられなかった状況におかれました。

そこで感じたこと、それは「自分さえよければ」という気持ちでは、この未曾有の危機に立ち向かえないということです。それは、言い換えれば「協力すること」の大切さです。皆でこの困難を乗り越えようという気持です。そこで、「協力することの大切さ」を教えてくれる本をご紹介します。

絵本

- ・『猫山』 斎藤隆介／作 滝平二郎／絵 岩崎書店 請求記号Eㇰ
- ・『おおきなかぶ ーロシアの昔話ー』 A.トルストイ／再話 内田莉沙子／訳 佐藤忠良／画 福音館書店 請求記号E. A
- ・『ろくべえまってるよ』 灰谷健次郎／作 長新太／絵 文研出版 請求記号Eㇰ
- ・『ブレーメンのおんがくたい ーグリムの昔話ー』 グリム／原作 ポール・ガルドン／え 晴海耕平／やく 童話館出版 請求記号EM7ㇰ
- ・『スイミー ーちいさなかしいさかなのはなしー』 レオ・レオニ／作 谷川俊太郎／訳 好学社 請求記号Eㇰ

高学年向け

- ・『冒険者たち ーガンバと十五ひきの仲間ー』 斎藤惇夫／作 薮内正幸／画 岩波書店 請求記号91ㇰ

小説3

- ・『指輪物語 旅の仲間』 J・R・R・トールキン／著 瀬田貞二／訳 田中明子／訳 アラン・リー／絵 評論社 請求記号F2ㇰ
- ・『下町ロケット』 池井戸潤／著 小学館 請求記号F1ㇰ

分類

- ・『ハチドリの一としくーいま、私にできることー』 辻信一／監修 光文社 請求記号519.8
- ・『アポロ13号奇跡の生還』 ヘンリー・クーパーJr.／著 立花隆／訳 新潮社 請求記号538.9

※『冒険者たち ーガンバと十五ひきの仲間ー』・『指輪物語』・『下町ロケット』
この3点は続編があります



「図書館員おすすめの本！」



『モンタギューおじさんの怖い話』
クリス・プリーストリー／著
デイヴィッド・ロバーツ／画
三辺律子／訳 理論社
請求記号 92フリ

やまばと通信読者の皆様、暑い夏をいかがお過ごしでしょうか。

夏と言えば、この暑さをしのぐ為に肝の冷えるおはなしがお薦めです。

今回ご紹介する本は、外国が舞台の物語です。

森の外れにぽつんと立つ屋敷、だれもいないはずの二階から聞こえてくる足音。明かりは一本のろうそくだけ、暖炉の火が躍る書斎には影がうごめいています。そんな屋敷に住むモンタギューおじさんのもとに、少年エドガーは今日も一人通います。おじさんの怖い話を聞きたいばかりに…。

短めのおはなしが何篇も収録されています。作り事なのか、はたまた真実のお話なのか。次から次と読み進めるうちに、想像力を掻き立てられて、夕やみに一人背中がゾクゾクなんて事になりませんように。

もしもおじさんのおはなしがお気に召しましたなら、続編もぜひどうぞ。図書館でご案内いたします。

豊ヶ丘図書館 「ここがおすすめ！」



一本と人と緑のハーモニー

「森の中の図書館みたいですね」と言われるほど、豊ヶ丘図書館の周りは四季折々、地域の人の目を楽しませてくれる樹木に囲まれています。カワセミや青鷺が飛来してくる大きな池のある豊ヶ丘南公園がすぐ近くにあり、とても自然に恵まれています。樹木が植えられた遊歩道沿いにあるので、散歩の途中に気軽に立ち寄ることができ、時々、図書館内でお知り合いの方同士、笑顔で挨拶を交している姿も目にします。

2階には学習室※があります。窓からは目の前に広がる空と緑、そして日差しや風を心地よく感じることもできます。明るく開放感があり落ち着いた読書や調べ物ができるオススメの学習室です。

昭和57年に開館し今年で37年、多摩市では高齢者の利用が最も多い図書館です。長い間住民に愛され、図書館が本と人、人と人をつなげるという大事な役目を果たしてきた地域の身近な図書館です。 ※学習室は現在使用できません

蒸し暑い日本の夏・・・ウィズコロナの夏・・・

熱中症にご注意を！！！！

毎年、この時期になると「熱中症」による被害が多発します。

「少しくらい水分を取らなくても」「少しくらい部屋が暑くても」

・・・この考えは、大変危険です。熱中症は命にかかわります。

さらに今年は「ウィズコロナ」の夏です。暑さの中マスクを

しなくてはならないことで、より危険度が高まります。

熱中症を知り、対策をとり、快適な夏を過ごしましょう。



熱中症関連の資料

- 『どうしてねっちゃんしょうになるの？（やさしくわかるびょうきのえほん）』
清水直樹／監修 清水さおり／監修 せべまさゆき／絵 WILLこども知育研究所／編
金の星社 請求記号49
- 『最新・熱中症対策 一水だけでは不十分！』 中井誠一／監修 村山貢司／監修
全国安全会議 請求記号493.19
- 『医者が教える熱中症対策 一救命救急医が教える熱中症の見極め方と応急処置』
榎出版社 請求記号493.19

関連ホームページ

【厚生労働省「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html

中央図書館整備だより

第2話「ラーニングコモンズ」

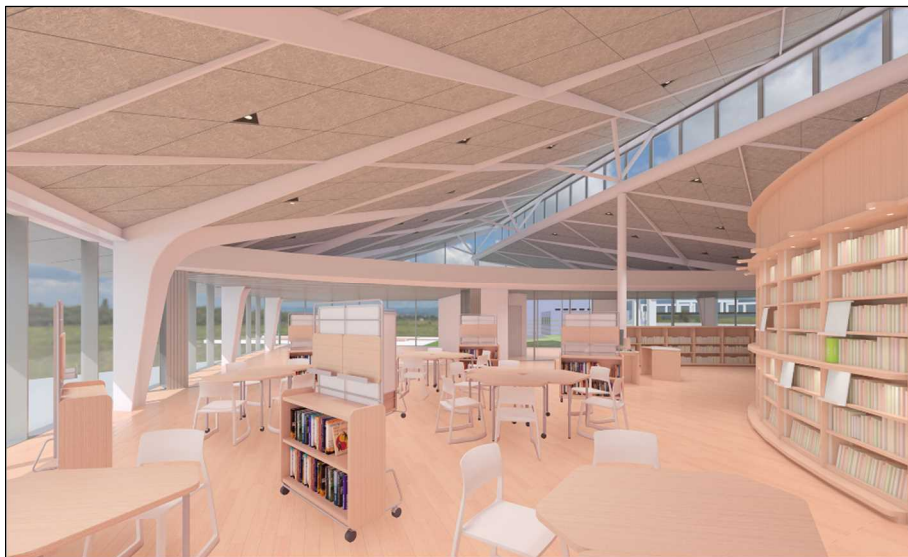
多摩市立図書館では、令和4年11月の開館を目指して、中央図書館の整備に取り組んでいます。「中央図書館整備だより」では、中央図書館の新しい取り組みにスポットを当てて紹介していきます。

中央図書館の2階は、公園に開かれた賑わいのある「広場系」フロアです。その一角に「ラーニングコモンズ」エリアという新しい学習スタイルを可能にする場を整備する計画があります。

「ラーニングコモンズ」とは、元々、学習支援の充実を目的として提供される空間やサービスを意味する言葉で、グループでの討議や学びあいに対応している点が特徴です。

中央図書館ではラーニングコモンズエリア等の机を自由に可動でき、組み合わせ可能なものにすることで、個人からグループの利用まで対応します。また、議論を行う際に便利なホワイトボードやプレゼンテーション用のノートPCの貸出、Wi-Fiも整備する予定です。

中高生からビジネスマン、市民活動をされる皆さんなど、多くの方に利用いただきたいエリアです



ラーニングコモンズ（完成予想図）